

この紙のゴール: 大切な人・物を、3つの型 (who・省略・whose) で厚く説明する文章にできる

モデル モデル (先輩の書いた例。声に出して1回読もう)

My grandmother is the person who taught me how to cook.
祖母は、料理のしかたを教えてくれた人だ。

The thing I treasure most is a letter my best friend wrote to me.
いちばんの宝物は、親友が書いてくれた手紙だ。

I have a friend whose dream is to open a bakery in our town.
この町でパン屋を開くのが夢の友だちがいる。

型で書く 型で書く—大切な人・物を3文 思考・判断・表現

内容は自由。形だけ型どおりに。書けたら隣の人と交換して、**節がどの名詞を説明しているか**に矢印を引き合おう。**気づき**: モデル2文目には関係代名詞が2回隠れています (The thing (that) I treasure most / a letter (that) my best friend wrote) —省略の形は1文に2回でも使えます。

- (1) _____ is the person who _____. わたしにとって大切な人
- (2) The thing I _____ most is _____. いちばん大切な・好きな物
- (3) I have a friend whose _____ is _____. 友だちの夢・特技・家族

ペアで話す ペアで話す—「大切な人・物」インタビュー

交代で質問→答えは1文+ひとこと補足。答えに Really? Tell me more. を1回は返す。**気づき**: 質問の the person who ~ / something you ~ をそのまま借りて答えると、長い名詞のかたまりが自然に口から出ます。

- (1) Who is the person who has helped you the most?
いちばん助けてくれた人は?
- (2) What is something you cannot live without?
これなしでは生きられない物は?
- (3) Do you have a friend whose hobby is a little unusual?
ちょっと変わった趣味の友だちはいる?
- (4) What is the best present you have ever received?
今までもらった最高のプレゼントは?

あいづち・返しの型: Really? Tell me more. That's a nice story. Same here. I didn't know that.

関係代名詞で話す・書く (標準) | 自分の番

年 組 番 名前 _____

書く 自分の番—60語前後で書く 思考・判断・表現

Introduce the person who means the most to you. (いちばん大切な人を紹介する)

①その人はどんな人か (who / whose) ②その人がしてくれたこと・いっしょにしたこと (The thing they did ~ など)

③これからその人とどうしたいか—の3段で、60語前後。関係代名詞の節 (省略もOK) を3つ以上使う。

評価 先生はここを見ます (加点式)

関係代名詞の節を3つ以上、正しい語順で使えている (省略の形も数えてよい)	+4点
who・省略・whose のうち2種類以上が使えている	+3点
自分にしか書けない具体がある (固有の場面・思い出)	+2点
50語以上書けている	+1点

※減点式にしない—書いた量と伝わった中身を評価します。細かい誤りは返却後の書き直しで扱います。

振り返り ペアで読み合って、相手の文でいちばん良かった1文をメモ